

認知症の方を支える当院の取り組み

超高齢社会を迎えたわが国において認知症の高齢者数は、軽症を含め約800万人といわれています。今後2025年まで増加が予想される状況に対応するとして、平成27年1月には認知症の新しい国家戦略「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」が発表され、認知症の容態に応じ



た適時・適切な医療・介護等の提供と、医療機関・介護施設等の最もふさわしい場所での、適切なサービスの提供を促進する循環型システムの構築が進められています。

認知症疾患支援センター主催 地域公開講座の開催

当院では、平成29年4月より「認知症疾患支援センター」を開設しています。ここでは、①認知症専門医療相談②認知症の診断および治療③身体合併症や行動・心理症状への対応④専門医療・地域連携を支える人材の育成⑤認知症に関する情報発信を軸に、認知症疾患に対する当院の役割を明確にし、これまで私たちが積み重ねてきた経験や実績を地域の皆さまに役立てていただきたく積極的に取り組んでいます。

平成30年9月27日、認知症

疾患支援センター主催の地域公開講座を「美しが丘テラス」（高齢者支援複合施設）のホールで開催しました。「認知症ってどんな病気？ その予防と治療」というテーマで、前半は当院の西診療部長による講演、後半は認知症予防体操を皆で行い、参加された方からは大変ご好評をいただきました。

また、今後のテーマについてのご要望もあり、引き続き地域の皆さまのニーズに沿った情報発信に努めていきます。

認知症看護の質の向上を目指して

さらに、より質の高い認知症ケアの実践および職員のスキルアップを目的とし、日本精神科医学会が平成28年度より認定している「認知症認定看護師」の取得にも取り組んでいます。初年度には1名、翌年度には2名の看護師が研修会受

講などの要件を満たした上で認定審査に臨み、無事に合格を果たしました。

認定を受けた3名は、それぞれ認知症病棟に勤務しており、身につけた知識や技術を日々の認知症患者さま、ご家族との関わりの中に取り入れながら、他のスタッフとも協力して認知症看護の質の向上に取り組んでいます。まだ人数自体は少ないのですが、今後も継続的に認定取得を推進し、法人全体の認知症対応力の向上に努めます。



petit pas プティパ きよたマルシェに出店

先日10月27日に私たちプティパは、清田の農産物を主として地域の魅力を発信する秋の一大イベント「きよたマルシェ&きよフェス」に参加しました。清田区役所前で開催され、平成27年から数えて4度目の出店となります。



今回は清田の名物ほうれん草ポテラスタートと、地元産のにんじんを使った「野菜ドーナツ」。それにプティパの一番人気メニュー、「ピーフシチュー」を販売しました。

当日は大雨と風で気温が低く、温かいシチューは大人のお客様を中心に支持を得られました。ドーナツは一口サイズのかわいい丸型と、赤と緑のカラフルな色合いが小



な色合いが小

さなお子さまに人気で完売でした。心配だった天気も午後にはだいぶ回復し、来場された人々は皆「清田の食と音楽の祭典」を楽しまれました。一度は胆振日高東部地震で中止になった今年の「きよたマルシェ」、例年より小規模ながらも盛況の中、無事に終えることができました。

（ワークサポート・プティパ 精神保健福祉士 本間英太）



在宅介護栄養セミナー ～在宅医療と腸内細菌～

医療法人協和会第二協立病院 院長 福田 能啓先生



2018年10月30日、在宅介護栄養セミナーが当院研修ホールで開催され、医療法人協和会第二協立病院院長の福田能啓先生による講演が行われました。

老化に伴い身体の機能低下や健康・栄養障害からくる衰弱により介護が必要な高齢者が

増加すると予測されています。生活習慣病や認知症に悩まされず「100歳まで健康で生きる」ためには規則正しい食生活や運動が大切です。「腸」は体全体の健康を守る基盤とされ私たちの身体を守る重要な免疫器官となっています。しかし加齢と共に腸内細菌の善玉菌が減少、悪玉菌が増加し、腸内細菌バランスの偏りにより様々な病

気を引き起こす事があります。身近な症状の1つに便秘症があります。便秘とは「定期的に便が出ない」と思われがちですが、排便がスムーズではなく苦しい、残便感がある場合などを便秘といいます。排便習慣は人によって異なるため軽視されがちですが、便秘の影には腸閉塞や大腸がんなど恐ろしい病気が潜んでいることもあります。そのため医療の現場では排便コントロールは非常に重要になります。苦痛や不快感を感じることなくスムーズに排便ができるよう便の回数だけでなく、量や硬さ、組成の変化などを観察し、便秘を予防することが必要であると再認識できました。安易に下剤の使用を避けず患者さんにとってよい排便コントロールができるようなケアを提供していきたいです。

（看護部主任 林 美穂）